

ニチイキッズ吉津保育室 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。
また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月9日（金）～1月31日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月26日
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、戸外活動・室内運動遊びを行ってきた。しかし長期間の猛暑により、戸外活動を楽しむ期間が少なく、戸外でおもいっきり体を動かす機会を十分とることが難しかった。そこで下期に0歳児が入園したこともあり、室内での運動遊びを月齢に合わせて積極的に行ってきた。来年度もどの学年もおもいっきり遊ぶ中で、子どもたちの学びの機会となるような保育を提供していく。
子どもの発達援助	一人ひとりの発達に合わせて、丁寧な関わりやきめ細かな配慮を職員全員で続けてきた。月齢や個人によって援助や配慮の仕方を職員間で検討し共有しながら一人一人丁寧に関わってきた。今後も子どもたちの成長を見守りながら個々に必要な援助を職員と一緒に考え連携を取りながら行っていく。
保護者に対する支援	日頃からのコミュニケーションを大切にし、相談しやすい関係づくりを心掛けてきた。どの職員も保護者との信頼関係を構築できるよう、送迎等の機会を大切にしていく。また、保護者より子どもたちの普段の園の様子を見たい、一緒に経験したいという意見を多くいただいた。ニーズに応え、保育の様子を見ていただく機会が持てるよう検討していく。
保育を支える組織的基盤	不適切保育防止については、年間を通してチェックシート、研修、ディスカッション等で園の職員だけでなく、ニチイ学館全体で一丸となり取り組んできた。引き続き子どもも保護者も園の職員も安心して安全で楽しい保育を行うことができるように連携を密にとっていく。また、職員の自己研鑽の場として、社内・自治体や民間企業・園内研修に主体的に取り組めるような環境を作っていきたい。

総評
今年度は日々の保育の振り返りを毎日続けて行うことができ、保育の反省や課題点の検討、情報共有、職員のコミュニケーションの場となった。職員全員の保育の質向上と風通しの良い職場環境を目指して今後も続けていきたい。災害対策としては、月一回の避難訓練に加え、けがや病気等予せぬ事態に対応できるように、シミュレーション形式の訓練を増やしていく。また、保育室の環境整備について、子どもたちの事故につながらないように安全チェックの仕方を職員間で検討、強化し、安全な保育が提供できるように継続して行っていく。そして保護者との信頼関係構築に努め、日々のコミュニケーションを大切に、保護者に寄り添い、一緒に子どもたちを大切に育てていきたい。

